

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育方法論				
担当者氏名	坂口 静子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

遊び、人とのかかわり、生活など、保育の様々な場面での基本的な援助の方法を学ぶとともに、幼児理解に基づく自分なりの保育方法を発想し、さらに検討する力を身につけることを目指す。また、保育者自身が幼児の活動を種々に実体験し、身体で感じ取り活動そのものを味わってほしい。

《テキスト》

授業内の印刷物は、適宜授業者が用意し配布する。

《参考図書》

基本、テキストは使わず、配布プリントで内容を進めていく。ほか、参考資料は適宜配布

《授業の到達目標》

保育者には協同で事を進めていく力が要求される。それを体験するために、グループ創作を取り入れる。それによってチームワーク力・コミュニケーション力を身につけることを目標とする。

《授業時間外学習》

テーマ「保育者の協力と保育」ではグループ創作を連続して行う。グループで決定した課題到達のために課外での活動が多くなる。チームワーク力の涵養を期待する。

《成績評価の方法》

授業内で実施する課題・確認問題・レポート 90パーセント 平常点(授業のふりかえり) 10パーセントによって総合的に判断する。

教材作りでは個人の完成度を求めるために課外での時間を要する。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	保育方法の基本理念 昨今の保育事情と課題
2	育児不安と子育て支援	子育て不安の要因と背景 脳科学の観点から
3	地域連携と支援策	地域に開かれ、地域との連携が活かされる園 幼稚園教育要領と保育所保育指針の求める子育て支援・保護者支援
4	保幼小連携活動	連携が必要とされる要因と背景 スタートカリキュラムとアプローチカリキュラム
5	保育者の協力と保育	催し物と子どもの生活との関連 グループ創作の意義 ① 構想を練る
6	保育者の協力と保育	催し物グループ創作 ② 創作・製作
7	保育者の協力と保育	催し物グループ創作 ③ 創作・製作
8	保育者の協力と保育	催し物グループ創作 ④ グループ発表
9	子どもの遊びと素材	手遊び「キャベツの中から」 軍手を使つての教材作り
10	遊びと健康（身体表現）	幼児ふれあい体操の創作 チームワーク力の涵養
11	基本的な生活習慣と保育	教材作り 「ばばっと絵本」作り 2面活用
12	自己紹介教材	教材作り 「ばばっと絵本」作り 6面活用
13	協同的な遊び	幼児自らが作る遊びの実際映像視聴 子どもが考える遊びと保育者の援助
14	保育者の役割と責任	様々な事例から保育の見直しを考える グループディスカッション
15	まとめ 実際の保育現場	映像で見る保育所保育指針 保育現場が担う社会的責任